愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	心理実習		
担当者(Instructors)	松田 凌	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業は学部における公認心理師カリキュラムの集大成として、地域における医療・福祉・教育分野の外部機関への見学実習と講義による事前事後指導により，心理職としての役割や責務，要支援者への関わり方，法的義務，多職種との連携などを学ぶものである。学外実習により関係機関への訪問や専門家からの指導，関係者への関わりが必要となるため，履修にあたっては以下の3つの条件が設定されている。 1. 定員（最大15名。人数超過の場合はGPA上位から15名まで） 2. 履修時の取得単位数（100単位以上） 3. 全科目平均GPA2.0以上かつ，「心理演習」の単位を取得していること 外部実習への準備として十分な事前指導の時間も準備しているが，事前指導や実習において実習を継続するのにふさわしくないと判断される行為があった場合には，実習・履修を中止とすることがある。また，実習協力機関との定めにより個人情報保護遵守等の誓約書の提出や実習費の支払いなども必須であるため，これらを承知した上で履修することが求められる。 なお，授業計画は実習協力機関との調整により内容や日程が変更となる可能性がある。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	実験・実習
授業の方法(Class method)	事前指導では，講義や少人数でのグループワーク，ディスカッション，個別面談を行う。実習に向けて履修者を訪問するグループに分け，グループ内での連絡のとり方や実習機関への移動，当日のタイムスケジュールなどの計画づくりを共同で行う。 学外実習では，グループ単位で協力機関に訪問し，各機関の指導者の従って実習に取り組む。当然のことながら，時間厳守や連絡・報告，情報管理を徹底することが求められる。 事後指導では，実習の振り返りやレポート作成，個別面談による指導，履修者全体での報告会などを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	本授業の概要と実習に関する説明を聞く。実習に向けた準備や実習グループについて理解する。	□
第2回	公認心理師カリキュラムの理解と振り返り	大学・大学院を含めた公認心理師カリキュラムと学びの内容について理解し，授業構成を振り返る。	□
第3回	外部実習機関の確認	外部実習の協力機関（医療・福祉・教育）の説明を聞き，実習に向けた段階的な取り組みを理解する。	□
第4回	実習における基本姿勢	実習における態度・行動，生活スタイルを学び，実習における関わりや連絡・報告のあり方を学ぶ。	□
第5回	実習態度・行動に関する個別面談・グループ検討	実習における態度・行動について個別面談やグループ内での検討を行う。	□
第6回	公認心理師の責務・法的義務	公認心理師の責務・法的義務について確認する。	□
第7回	個人情報等に関する取り扱い	実習に関わる個人情報の取り扱いや保管方法等について学ぶ。	□
第8回	公認心理師の役割，多職種との連携	公認心理師の役割や多職種との連携の仕方について学ぶ。	□
第9回	多職種連携とチームアプローチ	多職種連携やチームアプローチと，情報共有のあり方について学ぶ。	□
第10回	保健医療分野における心理支援、関係法令と倫理	保健医療分野における心理支援とチームアプローチ，関係法令と倫理について学ぶ。	□
第11回	福祉分野における心理支援，関係法令と倫理	福祉分野における心理支援とチームアプローチ，関係法令と倫理について学ぶ。	□
第12回	教育分野における心理支援，関係法令と倫理	教育分野における心理支援とチームアプローチ，関係法令と倫理について学ぶ。	□
第13回	多機関連携，地域連携	地域の関係機関や関係する職種による連携のあり方について学ぶ。	□
第14回	実習前の個別面談・グループ検討	外部機関への実習に向けて，事前の個別面談とグループ内での検討を行う。	□

第15回	医療機関の実習に関する情報収集等事前準備	医療機関における実習に向けて，対象機関についての情報収集や医療における業務の確認を行う。	□
第16回	医療機関の実習に関する計画作り	医療機関における実習に向けて，具体的な実習計画を作る。	□
第17回	医療機関における実習（１）理解	外部の医療機関における実習に臨み，医療機関の役割や機能，医療における公認心理師の役割や連携について学ぶ。	□
第18回	医療機関における実習（２）見学	外部の医療機関における実習に臨み，通院患者への集団プログラムによる支援等を見学する。	□
第19回	医療機関における実習の振り返り	医療機関における実習について振り返り，レポートを作成する。	□
第20回	医療機関における実習の個別面談・グループ検討	医療機関における実習について，個別面談とグループ内での検討を行う。	□
第21回	福祉機関の実習に関する情報収集等事前準備	福祉機関における実習に向けて，対象機関や移動経路，具体的な計画づくりなどを行う。	□
第22回	福祉機関の実習に関する計画作り	福祉機関における実習に向けて，具体的な実習計画を作成する。	□
第23回	福祉機関における実習（1）理解	外部の発達支援機関における実習に臨み，発達支援期間の役割や機能，公認心理師の役割や連携について学ぶ。	□
第24回	福祉機関における実習（2）見学	外部の発達支援機関における実習に臨み，特別な支援ニーズのある子どもや保護者への支援等を見学する。	□
第25回	福祉機関における実習の振り返り	福祉機関における実習について振り返り，レポートを作成する。	□
第26回	福祉機関における実習の個別面談・グループ検討	福祉機関における実習について，個別面談とグループ内での検討を行う。	□
第27回	教育機関における実習（1）理解	教育機関における実習に臨み，教育機関の役割や機能，公認心理師の役割や連携について学ぶ。	□
第28回	教育機関における実習（2）見学	教育機関における実習に臨み，教育機関における相談支援や多職種連携の実際について見学する。	□
第29回	心理実習報告会	これまでの外部実習について各グループ・個人で報告と全体でのディスカッションを行う。	□
第30回	まとめ	心理実習についてのまとめを行い，公認心理師の役割や連携についてディスカッションを行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習：　これまで受講した公認心理師カリキュラム科目の資料等を復習する。公認心理師の役割や法的義務等について法律や書籍，論文等の情報を調べておく。実習機関や実習計画について主体的に調べ学習や計画を行う。（2時間）　事後学習：　本授業で学んだことと関連科目の内容を関連させて復習する。実習に向けて自分自身の特徴や癖について具体的な自己理解を進める。実習に関連した内容について確認や振り返りを行う。（2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎授業後に感想・質問を収集し，質問は次回授業の冒頭で匿名にて共有して回答する。 実習に関するレポートでは個別面談を含めたフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	**◆ 2019人間健康DP2**	医療・福祉・教育の各機関における公認心理師の役割や支援における課題について，多機関との連携やチームアプローチを踏まえて検討することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

実習や演習への取り組み，実習先からの評価，レポートなどを総合的に評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		